

# 新高機能性肥料

# カネカ ペプチド®

KANEKA



既存農法の  
限界を超える、  
新しい農業が  
期待できます



カネカ ペプチド®W2 (生第93813号)  
主成分:酸化型グルタチオンGSSG  
N-P-K:10-10-10(%)

## カネカ ペプチド®の主成分 酸化型グルタチオン(GSSG)とは

- ・ 微生物や動物、植物の細胞内に広く存在している物質
- ・ 3種のアミノ酸が結合したペプチド

### カネカ ペプチド®の効果

KANEKA PEPTIDE

- 光合成能を安定化させます。
- 生育時におけるストレスを低減することで、植物の本来持つ力を引き出します。



[施用方法] カネカ ペプチド® W2を葉面散布

作物	施肥方法	施用量(10a/回)			施肥時期と回数	期待する効果
		カネカ ペプチド® W2	希釈倍率	散布水量		
ジャガイモ	葉面散布	66g	750~1,500	50~100ℓ	着蕾期前 着蕾期後 開花期以降 計3回	塊茎数増 塊茎肥大
テンサイ	葉面散布	100g	500~1,000	50~100ℓ	葉展開盛期 糖蓄積期 計2回	根部肥大 糖蓄積向上
タマネギ	葉面散布	100g	500~1,000	50~100ℓ	肥大始期 肥大終期 計2回	球肥大
ニンジン	葉面散布	100g	500~1,000	50~100ℓ	肥大始期 肥大終期 計2回	根部肥大
イチゴ	葉面散布	100g	1,000~1,500	100~150ℓ	定植前後 毎月1回	なり疲れ軽減
レタス	葉面散布	100g	1,000	100ℓ	定植前後 毎月1回	増収

※本効果は、全ての作物への適用を保証するものではありません。

※上記は作物への効果を保証するものではありません。

※上記以外の作物でも、通常肥料を投与する時期に合わせてご使用になれます。



使用上の注意

- 希釈した液は保存できません。その日のうちに使い切ってください。
- 「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあります。危険ですから混用はおやめ下さい。
- 高アルカリ性資材との混用は避けて下さい。
- 開封後は必ず密閉し、直射日光、高温多湿を避けて保管下さい。



カガクで  
ネガイを  
カナエル会社  
**kaneka**

製造元

**株式会社 カネカ**  
新規事業開発部 食料生産支援グループ  
TEL.06-6226-5109 FAX.06-6226-4719  
E-Mail: food\_production\_support@kn.kaneka.co.jp  
URL: http://www.kaneka-gssg.com/